

## 未来に宝ものを送りたい



平和記念館「ピースあいち」

### 東京に平和記念館を

#### 戦争の記憶を 風化させない

鈴木都知事時代に計画された東京都平和記念館（仮）構想。

石原都知事時代、

99年の都議会本会議で「議会の合意を得た上で実施する」との付帯決議が採択されたため、計画は凍結されてしまいました。現在は、膨大な資料が「庭園美術館」の倉庫に保管してあります。

しかし保管状態が悪く、平和団体の皆さんから心配する声や、戦争の記憶を後世に伝えるため、早く記念館をつくって欲しいという強い要望が寄せられています。

戦後74年目、安倍政権による憲法9条改憲策動が強まっています。次の世代が平和を考える機会となるよう、一緒に記念館建設運動を進めたいと思っています。

#### 「ピースあいち」へ

共産党都議団のチームで、名古屋市の先進事例を調査に行きました。市には二つの平和記念館があります。

一つは「ピース愛知」。市民がつくった民間の施設です。名古屋市は東京と同じく、空襲にあっています。この経験がある



視察・調査する都議団

だけに市民の平和に対する思いは強く、記念館設立の運動へと広がり、個人の寄付で会館設置を実現しました。この施設では戦争被害だけでなく、加害の記憶も併せて展示しています。南京大虐殺、従軍慰安婦問題などを正面から取りあげ、展示してありました。日頃は約70人以上のボランティアのみなさんが会館を支えています。素晴らしい取り組みに感動し、頭が下がりました。

しかし河村名古屋市長は、この施設に一円も補助金を出していません。

#### 公立の平和 記念館では

もう一つの記念館は県と市の共同施設です。一度計画が頓挫したことがあります。市民

の運動と議会での一致があり実現しました。

年間予算は1000万円。主な展示物は名古屋空襲でしたが、加害の実相は伝えていません。

一方この施設には学芸員がおり、寄贈品の整理、

証言ビデオも10年前から作成しています。また、日本が第二次世界大戦に向かって国民を巻き込んでいく様子が掲示物でよく分かり、水準の高さを感じました。

二つの施設の利点を生かした施設が東京にあればという思いを強くしています。

## 地下40m外環本線

# 禍根のこす道路建設やめよ

1月18日、とや英津子都議は共産党区議団と宮本徹衆議院議員、吉良よし子、山添拓両参議院議員とともに、外環大泉JCTのシールドマシン発進式の中止と、外環の2（新青梅街道～千川通り）の事業認可に対する抗議の申し入れを国交省に行いました。



国交省に申し入れるとや英津子都議（左から4人目）

国は、大泉ICTから外環道シールドマシンを発進させるため1月26日に発進式を行いました。住民からは抗議の声が上がっています。外環道は、すでに1兆6千億円に膨らんでおり、難工事のためさらに事業費が膨らむことが予想されています。道路整備にあたり、国は40mの地下を掘進するから地上に影響はないとして、シールドマシンを東名JCTから発進させました。

ところがこの地域では昨年、即死レベルの酸欠空気が発生し野川へ漏出しており、地中や住宅街の地下室、井戸、マンホールへの滞留が心配され、住民が不安を感じています。また、外環本線は大深度地下を利用することで地上の権利者の承諾は必要としないとしています。あくまで地下の工事が地上に影響を及ぼさな

いことが前提です。

酸欠空気の漏出は、この前提が崩れています。大泉JCTからシールドマシンが発進すれば、これから何が起きるか分かりません。

多額の税金投入をして住民を危険にさらし、環境も壊す外環道本線工事は中止すべきです。

## 外環の2(地上部道路)

# 大型道路より踏み切り解消を



誘導員が必要な上石神井駅前

東京都は、国交省に対し外環の2（新青梅街道～千川通り790m）の事業認可を申請、昨年12月4日に認可されました。

もともと外環の2は外環本線の高架式を前提にその下部に計画された

もので、本線が地下になったことで、廃止されるべき道路です。

また、20

16年3月に都が策定した「東京における都市計画道路の整備方針」でも杉並区や武蔵野市部分は計画内容再検討路線に指定されており、廃止も含めた話し合いも行われ、三鷹市では話し合いの会すら設置されていません。練馬区間だけが先行旗振りになっているのです。

都は、外環の2の整備効果を、

交通の円滑化や歩行者・自転車の安全性・快適性の向上などをあげていますが、こうした課題は大型道路建設が解決方法ではありません。上石神井駅周辺は、商店街に車が進入して危険であり、踏切渋滞が起きたり、駅前の広場が狭いため、バスの停車が困難で危険性もあるなど、まちの課題は山ほどあります。

まずは上石神井駅の連続立体化を優先し、交通のスムーズな流れをつくり、狭隘な道路は拡幅するなどの検討をすべきです。

日本共産党都議会議員

とや英津子のニュースレター